

特定開発事業温暖化対策計画書の公表 R 8－0 0 5

届出の状況（変更・完了・中止）

変更年月日	
（変更項目）	☐ 開発事業者 ☐ 事業名称 ☐ 土地の位置及び区域 ☐ 事業の目的 ☐ 区域の面積 ☐ 棟番号 ☐ 用途 ☐ 延べ面積 ☐ 措置の内容 ☐ 再エネ活用検討 ☐ 評価の目標 ☐ 着手予定年月日 ☐ 完了予定年月日
完了年月日	
中止年月日	

計画書の概要

受付番号		2 0 2 6 T 0 0 5			
特定開発事業者		大和ハウス寒川開発特定目的会社 取締役 中津 正憲			
特定開発事業の名称		DPL寒川Ⅰ新築工事			
特定開発事業を行う土地の位置及び区域		高座郡寒川町田端4005-1,2,3			
特定開発事業の目的		物流施設の新築			
工事の着手予定年月日		2026年6月1日			
工事の完了予定年月日		2028年6月30日			
特定開発事業の概要	特定開発事業を行う区域の面積	37,647.74㎡			
	予定建築物の概要	棟番号	用 途	延べ面積 (平方メートル)	備 考
		1	倉庫業を営む倉庫	88,861.90	建築面積：22,957.14㎡ 構造：RC造+S造 階数：地上4階 地下なし
		2	その他 (守衛所)	3.24	建築面積：3.24㎡ 構造：S造 階数：地上1階 地下なし
		合 計		88,865.14	

の温室効果ガスの排出の量の削減を図るため実施しようとする措置	エネルギー使用の合理化	・ 太陽光発電設備を導入する。（定格出力24.48kWを予定） ・ 倉庫建築として高断熱外装材を採用した。 ・ 建物のすべて照明器具にはLEDを採用した。	
	ヒートアイランド現象の緩和	・ 東側と南側に広い緑地を設ける。 ・ 地区計画で定められた15%緑化基準を超える緑化を図る。（緑地率15.10%、緑地面積5,684.85㎡） ・ 歩行者空間は風通しが良くなるように建物と植栽を配置した。	
	交通環境への配慮	・ 開発区域とその周辺地域の交通を考慮した交通計画を作成する。 ・ なるべく多い台数の駐車場・駐輪場・バイク置場を設置する。 ・ シェアサイクルを設ける。 ・ 各種車両と歩行者動線を明確に分離し、交差点を少なく設ける。 ・ 廃棄物庫には専用の荷捌き場を設ける。 ・ 歩行者動線にはなるべく透水性の高い舗装材を設ける。	
	緑の保全と創出	・ 開発敷地内にはなるべく在来種による緑化を図る。 ・ 東側と南側に広い緑地を設ける。（再掲） ・ 地区計画で定められた15%緑化基準を超える緑化を図る。（緑地率15.10%、緑地面積5,684.85㎡）（再掲）	
	工事に係る配慮	・ 二酸化炭素排出量の少ない輸送手段を選択する。 ・ 低燃費型・省エネルギー型の建設機械等を採用する。 ・ 車両のアイドリングストップを推進する。	
果の再生活用可能に係るエネルギー検討の結果等	検討を行った項目	■太陽光発電設備 ■太陽熱利用設備 □風力発電設備 □水力発電設備 □バイオマス発電・熱利用設備 □温度差熱利用設備 ■その他（天然ガス・スコージエネルギーシステム、LED照明設備）	
	導入予定設備	・ 太陽光発電設備（定格出力24.48kW） ・ LED照明設備	
価 温 特 暖 定 化 建 築 対 策 物 の に 係 置 る の 地 球 評	棟番号	評価の目標	評価の結果
	1	総合評価：A 以上 地球温暖化への配慮 ホールライフカーボン排出率：86% ヒートアイランド現象の緩和 スコア：2.0	
備 考			